

D5 深層インタラクション

人とアバターを繋ぐCA基盤の開発

概要

人が様々なCA(サイバネティックアバター)を使って自在に活躍する社会の実現を目指して、人とアバターを結び付ける情報インフラであるCA基盤の開発を進めています。CA基盤の持つCA・通信路の動的な割当て、サービス配信、CA活動のモニタリング等の機能によってCAを使った様々なサービスを円滑に提供することが可能になります。

特徴

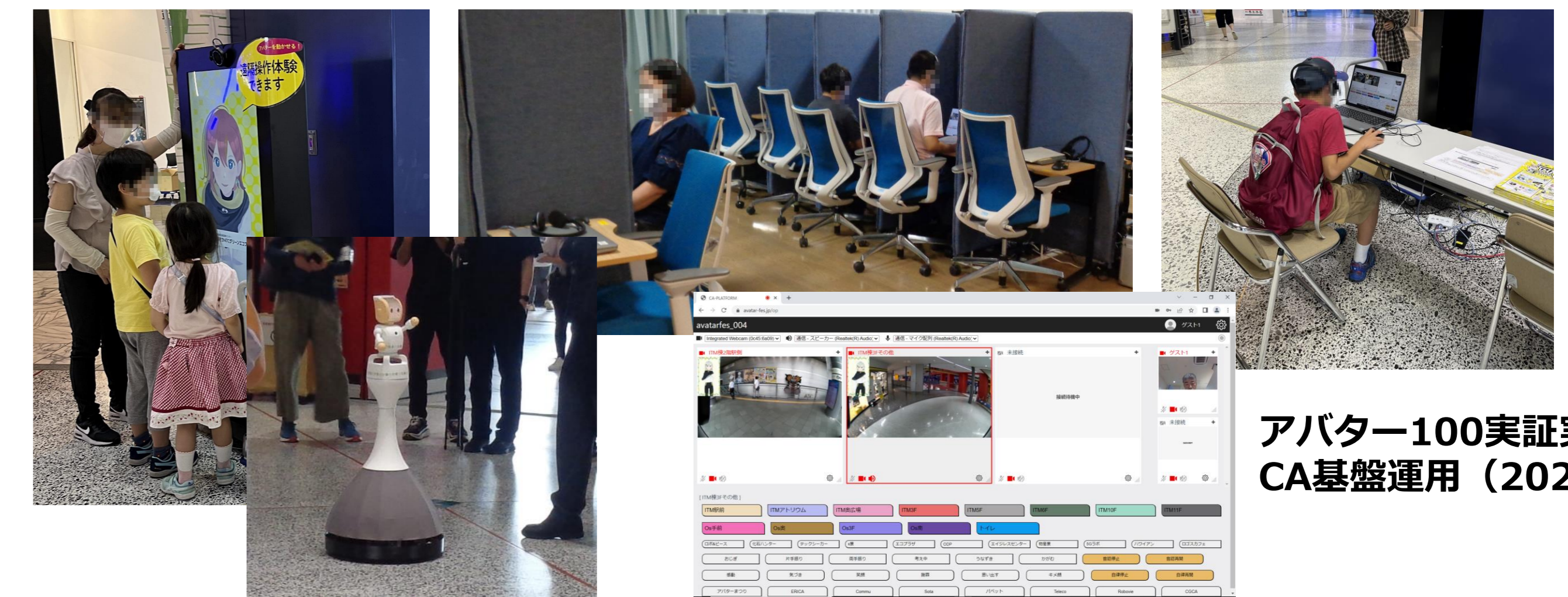
- CA基盤では、遠隔操作者とアバターをネットワークを介して結びつけることで受付サービス・案内サービス・接客サービスなどCAを利用した様々なサービスの提供を可能とします。
- 1人の操作者が複数のCAを同時に操作する・複数の操作者が共同で1台のCAを操作するといった多様な利用形態に対応します。複数のCAが共同でひとつのサービスを提供することも可能です。
- 本年7月に大阪ATCで実施したアバター100実証実験(アバターまつり)ではCA基盤を介して50体以上のアバターを常時18名(のべ約400名)の操作者が操作しました。

今後の展開

- 大規模な実証実験で得られた知見を活かしながら、CA基盤の機能強化を積極的に進めていきます。CA自体やCAサービスの開発支援、CAサービスの標準化についても検討します。

テーマ「ともに究め、明日の社会を拓く」との関連

- アバター共生社会においてCA基盤を介して蓄積されるサービスの利用履歴は働く・学ぶ・楽しむなど人間の様々な活動の記録となります。これらのデータを互いに共有することで現在のそして未来の社会をより豊かなものにできると考えられます。



アバター100実証実験におけるCA基盤運用(2023年7月)



CA基盤によるサービス提供イメージ

連絡先: インタラクション科学研究所 担当 内海 章 E-Mail: utsumi@atr.jp

